

中小野中新聞

★生徒の活躍★

○陸上部長距離

加東伝の助マラソン大会

- 3km中学生女子 入江 瑛
- 3位 藤原 郁歩
- 8位 中学生男子 宮本 涼平
- 6位

○サッカー部

中町杯 優勝

○小野地区青少年健全育成会標語

- 最優秀賞 1年 竹田 朱里
- 優秀賞 1年 松尾 有沙
- 2年 二星 亜美
- 3年 黒崎 彩美

★グラウンド造成工事進捗状況★



部室 (3月末完成予定)



グラウンド (2月中旬使用開始)



大会・うどん会終了後、生徒役員へ役割引き継ぎを行いました。

■生徒会だより■

新生徒会長 横山太一さん就任挨拶

僕は、一年間委員長会の監査をしてきました。監査の二人以外は、全員先輩という環境の中、最初はうまく輪の中に入れるかと心配もありました。しかし、先輩たちはみんな優しく気軽に声をかけてくださったり、分からないことは丁寧に教えてくださいました。そのおかげで、最後まで監査の仕事が果たすことができました。



一年間小野中学校のために積極的に活動し、みんなを引っ張ってくださった先輩たちに感謝したいと思います。僕たちが先輩たちの築いてくれた伝統ある生徒会を受け継ぎ、先頭に立って守っていくことになりました。プレッシャーに押しつぶされそうですが、先輩たちから学んだことを活かして努力し、しっかりと築き上げていきたいです。一人ひとりの心がけで、小野中学校はもっとすばらしい学校になると思っています。ぜひ、皆さんの力を貸してください。お願いします。僕たち新生徒会役員と一緒に、世界一の学校を創りあげていきましょう。

★学業連携部より★

生徒の生活リズム改善キャンペーン第2弾にご協力を!

先日、募集しましたディスプレイツール(テレビ、ゲーム、携帯電話(メール)、パソコン等)の我が家の使用ルールのご紹介、ありがとうございました。1月27日までに359通集まり、以下のような現状を把握することができました。

○テレビ、ゲーム、DVDなどは1日1時間以内の使用

○携帯電話は高校生までは購入しない 49%

○携帯電話を所持させて、使用時間のルールがある家庭の65%が22時以降使用禁止

その一方、インターネットを使っているが調べ学習の一環としてなのか遊びなのかわからない、TVを見過ぎていと思うが他の家庭ではどうなのだろう、といった悩みも寄せられました。

そこで、生活リズム改善の第2弾としてディスプレイツールの使用ルールのチェックを1月30日からお願いしております。ディスプレイツールに費やす時間を短くすることで、早寝・早起きを定着させ、家庭学習や読書の時間を増やすことができます。そして脳を活性化させ、確かな学力を培うことにつながります。

提出は2月13日(月)です。ご協力をお願いいたします。

1年生だより

例年のようにインフルエンザが猛威をふるい、本校でも感染者が多数出ました。

1年生では「トライやる・ウィーク」の準備がスタートしてあります。まず3日に、「トライやるウィーク」についてのオリエンテーションの集会を持ちました。そのあと、学級活動などを通じて、学習を深めていきます。2月中旬に、「トライやる」体験場所のアンケート調査を行い、学級担任を中心に行き先を確定していきます。

2年生だより

猛威をふるったインフルエンザもおさまり、ようやく落ち着いた学校生活を送れるようになりました。今、2年生では、学活で進路に関する学習をしています。高校入試について、公立高校(一般・推薦)・私立高校の特色や入試制度について学んでいます。自分の目標や夢をかなえるための一歩を歩むためにも、どんな夢をもっているのか親子で話し合う機会をもつていただけたいと思います。また2月10日には1年生からの範囲の確認テストもあります。家庭学習を充実させていく良い機会です。伸びるチャンスです。

3年生だより

3年生は、私立高校入試を10日に、公立高校推薦入試を1日に控えています。先月より小論文や面接の練習をしています。各教科の学習もまとめる時期になってきました。今後も毎日の授業や家庭での復習を着実に積み上げていくことが大切です。あせらず、怠らず、落ち着いた生活を送り、最後まで努力を続けてほしいと思います。寒い日が続き、1月末にはインフルエンザで休校になってしまいました。健康に十分留意し、規則正しい生活を送れるよう家庭でも支援をお願いいたします。

校長ブースより

アメリカ大リーグで活躍し、数々の記録を打ち立てているイチロー選手が「小さなことを積み重ねるのがとんでもないところへ行きただ一つの道だ」と言っています。天才と言われているイチロー選手ですら、毎日の努力の積み重ね無くしては、現在の自分はないと言っているのです。しかし、努力を続けることこそが難しいことであるとも言えます。イチロー選手はなぜ努力し続けることが出来たのでしょうか。ひとつの理由は、子どものころから、大リーグの選手にあこがれ、自分も将来は大リーグでプレーをしたいという夢を持ち、それを目標として持ち続けたからだだと思います。

鎌倉時代の彫刻家の運慶が仁王像を懸命に彫っている姿を見て、ある男が「よくあゝ無造作に彫って、思うような仁王を彫れるものだ」といった。それを聞いた若い男が「あれは仁王を彫っているのではない。木の中に仁王が埋まっているのだ。それを掘り出しているにすぎない」と答えた。それを聞いた最初の男は、「そうか、すでに埋まっているのか」と思い、さっそく家に帰り、木を勢よく彫りはじめた。しかし、いくら彫っても仁王は見つからず、木は全て削りかすとなってしまった。これは仁王が、木の中に埋まっているのではなく、運慶の心の中に、頭の中に、しっかりとした仁王像が形づくられていくということ。イチロー選手も、運慶も努力し続けることで、偉業を成し遂げましたが、二人とも自らの進む道を知り、思いがけず進んでいくからだと思います。夢や希望を持つことが、努力を続ける原動力となるのです。